

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名 プロアマ・コマンダー ガンマ	投球者 徳江 和則	センター 平和島スターボウル
RG 2.500	△RG 0.054	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

テストボール：コマンダー ガンマ

フレアーの幅 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

PAPからピンとの距離 **5** インチ

番

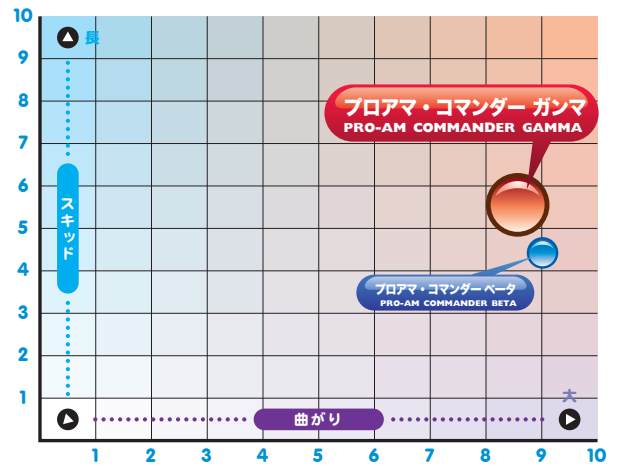
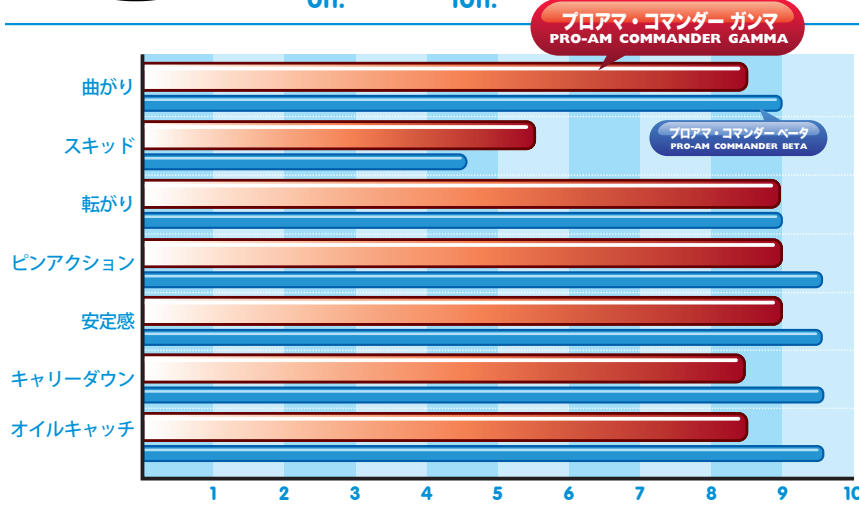
比較対照ボール：コマンダー アルファ

フレアーの幅 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

PAPからピンとの距離 **5** インチ

番



ボールの評価

新たな領域への挑戦。今度のCommander γ の開発コンセプトは攻撃的なコマンダーです。今までのコマンダーに息吹を注入するにはコア形状はそのまま、パフォーマンスを担うカバーストックを新たに見出す必要がありました。

Commander α と β に共通して使用されているSelect™ Premium Hybrid ReactiveやPremium Pearl Reactiveは特性からやや手前からキャッチを見出す性能分布のカバーストックです。

しかし今回のCommander γ のSelect™ Extreme Pearl Reactiveはパール素材の中でもスキッドが強く、特にDryゾーンでの反応が良い特性を持っています。コマンダーシリーズに使用されているSelect™ CoverstockはPro-Amモデルの中でもHigh-Performance領域ですので、スキッドを重視させることで、よりバックエンドでエネルギーを放出できていることになり、Drive™ Asymmetrical CoreのMidium マスバイアスがキャリアダウンコンディションでフッキングを安定させる役目もしています。

前回までの2作は箱出しのボックスフィニッシュは共通して3000-Grit Abralonで曇った表面加工でしたが、今回の γ は2000-grit Polished 仕上げです。Polished 仕上げであってもオイルに対しての弱さは感じず、逆に強ささえ感じるぐらいMediumからMedium Heavyのコンディションで開発コンセプト通りに攻撃的にラインを攻め、バックエンドでネジれるようなリアクションを得られるでしょう。

特記事項

コマンダー最新作は攻撃的なリアクションが信条の新開発Select™ Extreme Pearl Reactiveの γ 。ポリッシュ加工でオールラウンドに使えるボールです。